

✿ 春の火災予防運動のお知らせ(3月1日から7日) ✿

乾燥しやすい春先は、住宅火災や林野火災が特に増える季節です。
皆さまの大切な命と地域を守るために、次のポイントに御協力ください。

🔥 1 住宅火災から命を守る

近年、住宅火災による死者数は増加傾向にあり、特に65歳以上の高齢者が7割以上を占めています。

逃げ遅れを防ぐためには、早期発見と日頃の備えが欠かせません。



●住宅用火災警報器の設置・点検をしてください。

- ・ 設置していないご家庭は、必ず設置をしてください。
- ・ 設置から10年が目安。古い警報器は交換を推奨します。
- ・ 電池切れの警報音が鳴ったら、すぐに電池交換をしてください。
- ・ 木造住宅が密集する地域では、屋外警報装置付きの警報器も有効です。

●安全装置付き器具・消火器の活用を

- ・ 安全装置付きのストーブや調理器具を選びましょう。
- ・ 住宅用消火器や簡易消火具を備えておくと初期消火に役立ちます。



●電気火災に注意

電気火災は増加しており、出火原因の約8割が不適切な使用や管理不足です。

- ・ コンセントのほこりを清掃しましょう。
- ・ たこ足配線を避けましょう。
- ・ 取扱説明書に沿った使用をしてください。
- ・ リチウムイオン電池は純正品を使い、充電中の放置は避けましょう。

●たばこの火災に注意

住宅火災の出火源で最も多いのがたばこです。

- ・ 吸い殻は必ず水で完全に消すこと。
- ・ 寝たばこは絶対にしないこと。
- ・ 屋外でも風の強い日は特に注意すること。



●防炎品の活用

カーテン・じゅうたん・寝具などは、防炎製品を選ぶことで火災拡大を防げます。

❷ 地震火災への備え

大規模地震時には同時多発的に火災が発生し、消火活動が困難になります。

●家具の転倒防止・火気設備の耐震化

- 家具の固定やストーブの耐震装置の確認をしましょう。
- 住宅用火災警報器や消火器を設置しましょう。

●地域での防災訓練に積極的に参加

- 初期消火訓練
- 飛び火警戒の訓練
- DIG(災害図上訓練)などで地域の危険を共有
- その他、地域でできることを考えましょう(例:連絡網の整備等)。

●感震ブレーカーの設置

地震時の電気火災を防ぐため、感震ブレーカーの普及が進められています。特に木造密集地域や津波浸水想定区域では効果的です。



❸ 林野火災を防ぐ

1月から5月は林野火災が増える時期です。
林野火災の多くがたき火や火入れなどの人為的な原因です。

●火の取り扱いに十分注意

- 風の強い日のたき火は絶対にしない。
- たき火等の行為をするときは必ず消防署へ届出をする。
- 山林周辺では火気の使用を控える。
- 少雨情報が出ている地域では特に注意する。



●林野火災警報・注意報の確認

警報が出ているときは、「屋外での火の使用が制限」されます。
注意報の時も、控えるようにしてください。
地域の広報や防災無線にご注意ください。



✿ 地域みんなで火災ゼロの春にしよう ✿

火災は「ちょっとした注意」で防ぐことができます。
ご家庭での点検、地域での声のかけ合いを通じて、安心して暮らせるまちづくりに御協力よろしくお願ひいたします。